

仕 様 書

1 業務名称

時計台冷房設備整備内容検討業務

2 対象施設

重要文化財札幌農学校演武場（時計台）（札幌市中央区北1条西2丁目）

3 業務内容

① 時計台への冷房設備の設置方案検討

- ・時計台に冷房設備を導入する場合の設置方案を複数（最低3案）提示すること。検討の際には冷房負荷計算も行った上で検討すること。
- ・時計台への既存暖房設備（温水輻射式、別添参照）の改修も検討していることから、これを活かした冷房設備導入についても検討に含めること。
- ・各方案について、時計台の平面図・立面図等を編集して機器設置場所・各種配管ルート・建物への改変影響がある場所（壁面に貫通が必要となる場合はその位置と孔サイズ）等を示すこと。
- ・各方案で必要となる電気回路および容量について、既存設備での対応可否や、改修工事が必要な場合の工事内容について検討し、その内容について電気図面で明示すること。
- ・重要文化財としての価値を損なわないよう、外壁への開口などの建物への改変影響を最小限にするよう配慮した検討内容すること。また、機器や配管の設置位置についても意匠性に配慮した検討内容とすること。この他、観光施設でもあるため、冬期間の屋根からの落雪等のほか、騒音等にも配慮すること。

② 方案比較・評価検討

上記①で検討した方案について、機器仕様・機器設置場所・配管ルート・電気容量・建物への改変影響・導入費用・工期・長所・短所（課題）・その他必要と思われる項目に関する比較検討を行い、各方案の評価を行うこと。

4 業務期間

契約書に示す着手の日から、令和7年3月28日（金）まで

5 一般要領

- (1) 本業務の遂行にあたり本業務仕様書のほか、関係法令を遵守すること。
- (2) 本業務に関し、疑義が発生した場合は、両者協議のうえ決定すること。
- (3) 回路調査時の既設機器コンセントプラグの抜き差し、ブレーカー入切り等については、時計台指定管理者がおこなう。また、回路確認によるブレーカー入切り直後の施設内機器の故障について、受託者は責任を負わないものとする。
- (4) 観覧施設のため、調査作業は極力観覧者に影響を及ぼさない時間帯に実施すること。
- (5) 調査作業に伴う安全対策は確実に実施すること。
- (6) 調査作業後の清掃、片づけ等については、確実に実施し、一般廃棄物が発生した場合は適切に処理すること。

6 提出書類

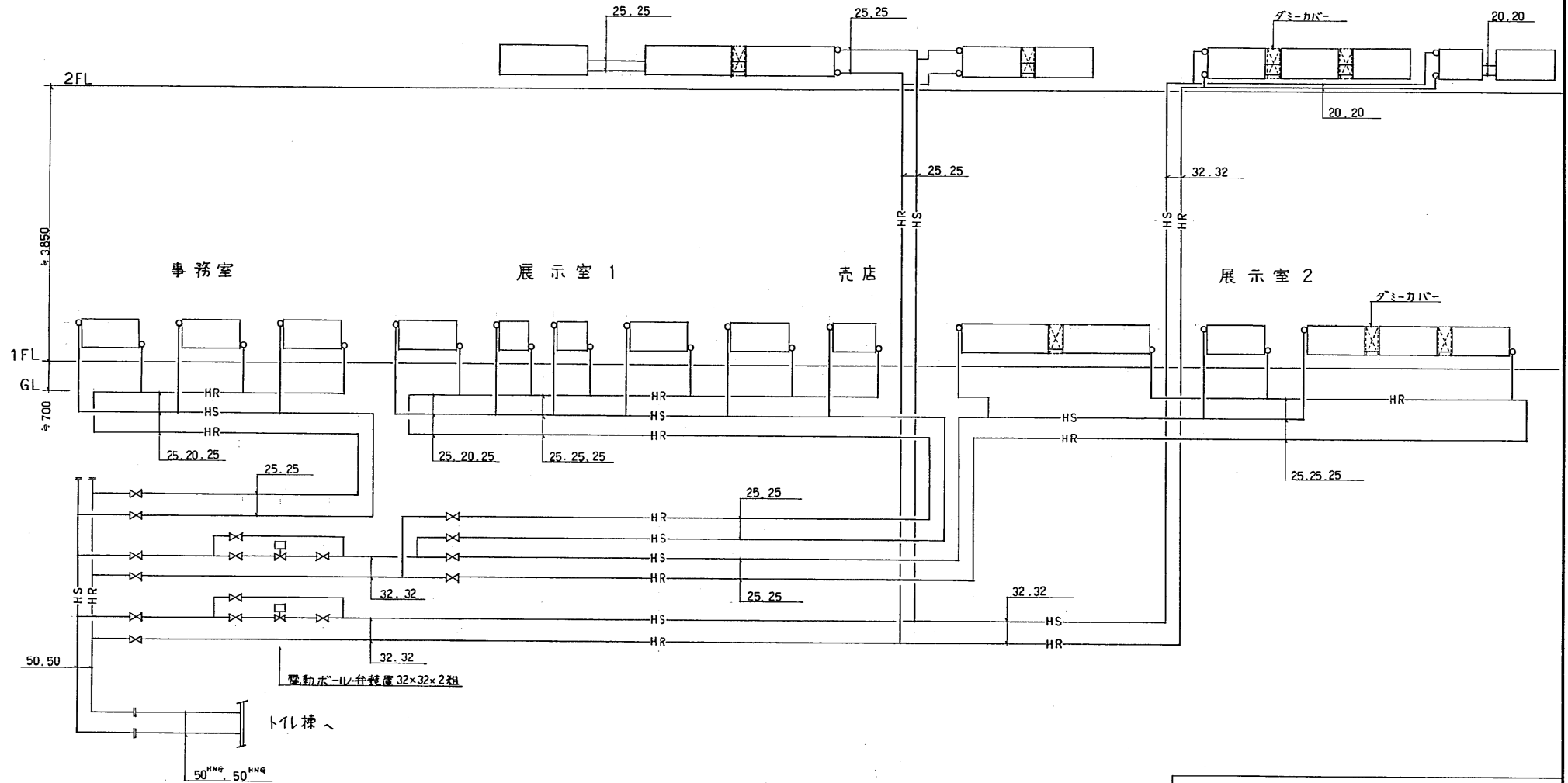
提出書類	部数	提出期限	備考
業務完了届	1	完了と同時	図面、機器仕様、比較表等 電子納品は CD-R 等で納品すること
業務報告書	1	〃	
業務報告書（電子納品）	1	〃	

提出書類はすべて A 4 サイズとする

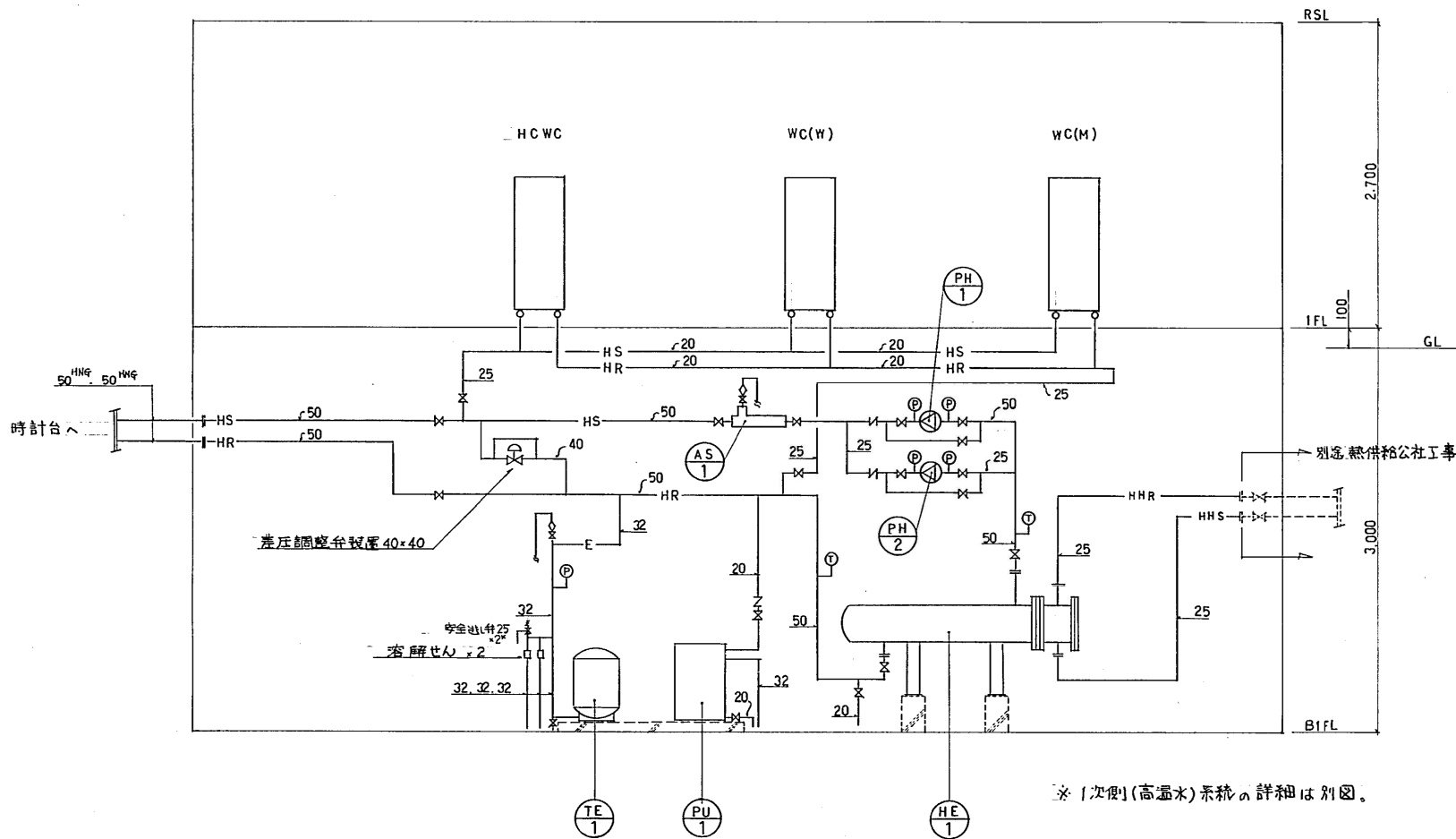
7. 写真撮影要領

調査作業内容、工程が具体的に掌握できるように撮影すること。

時計台ホ-ル



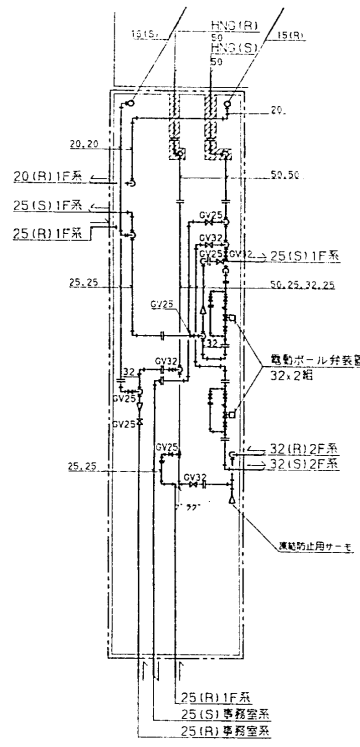
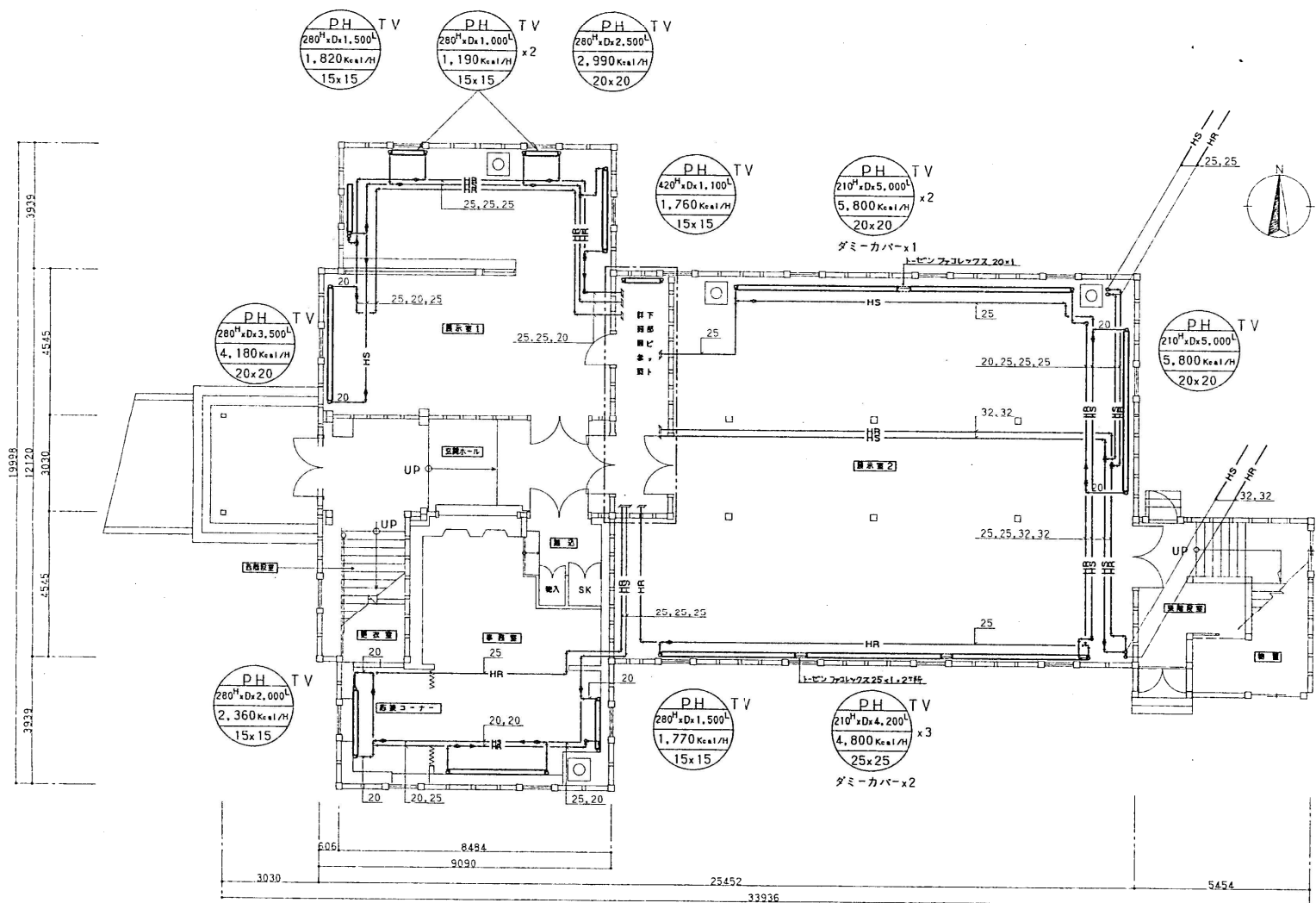
し ゃ ん 功 図			
工 事 名	時計台活用・防火機械設備工事		
図 面 名 称	時計台 視房配管系統図	縮 尺	—
請 負 人			
工 期	着手 平成 10 年 2 月 18 日 製 しゅん功 平成 10 年 9 月 16 日 図	製 図 番	2 / 17



※1次側(高温水)系統の詳細は別図。

- ⊕ 圧力計 100^{mmHg}
- ⊖ 温度計 100^{mmHg}

しゅん功図			
工事名	時計台活用・防火機械設備工事		
図面名称	トイレ棟 暖房配管系統図	縮尺	—
請負人			
工期	着手 平成10年 2月18日	製	図 8 / 17 番
	しゅん功 平成10年 9月16日	図	

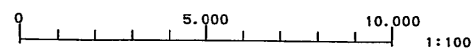


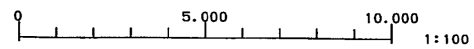
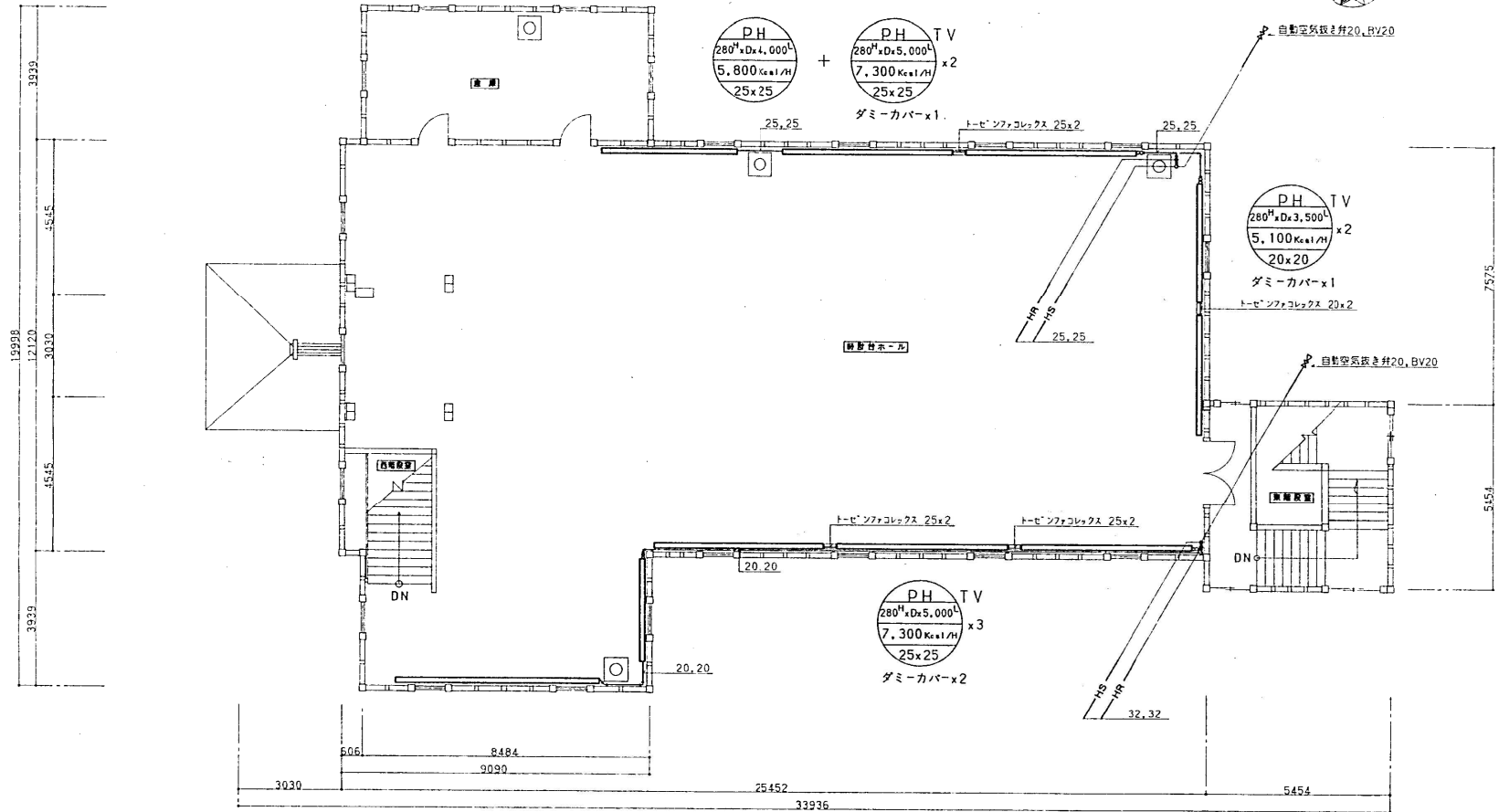
下部分詳細図 S=1/50

凡例

- 記号 PH: パネルヒーター
- 高さ×列数×長さ D: 2列
- 放熱量 TV: サーマルバルブ付
- ダビング

し ゃ ん 功 図	
工 事 名	時計台活用・防災機械設備工事
図 面 名 称	時計台 1階平面図(暖房設備) 縮尺 1/100
請 負 人	
工 期	着手平成10年 2月18日 製 しゅん功 平成10年 9月16日 図 図番 3/17





し ゃ ん 功 図			
工 事 名	時計台活用・防災機械設備工事		
図 面 名 称	時計台 2階平面図(暖房設備)	縮 尺	1/100
請 負 人			
工 期	着手 平成 10年 2月 18日 製	図 番	4 / 17
	し ゃ ん 功 平成 10年 9月 16日 図		